祝　辞

全国知事会会長・徳島県知事
飯　泉　嘉　門

このたび、公益社団法人徳島県宅地建物取引業協会の令和３年度第９回定時総会が開催されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴協会の皆様におかれましては、日頃から、研修会の開催や無料相談の実施などにより、適正な不動産取引や良質な住宅・宅地の供給にご尽力いただくとともに、本県の住宅・建築行政はもとより、県政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大以降、人々のライフスタイルや働き方の変容に伴い、DX（デジタルによる社会変革）が急速に進んでおります。

また、国においては、本年９月のデジタル庁の創設をはじめ、国全体のデジタル化の実現に向けて大きく舵を切ったところであります。

不動産業界におかれましては、デジタル化へと急速に進展する大変革時代を迎える中、VR（仮想現実）による内覧や、ビッグデータの活用が普及し、デジタル技術を活用したより細やかな不動産情報の提供や、より良い住環境づくりに、大きな期待が寄せられています。

一方、本県では、我が国が直面する「新型コロナウイルス感染症」、「人口減少」、「災害列島」の３つの国難を打破し、徳島が全国をリードして「活力ある地方を創る」という強い決意のもと、「デジタル社会の実装」を「推進エンジン」の一つと位置づけ、取組みを進めています。

本県発祥の「サテライトオフィス」や、休暇と仕事を組み合わせた「ワーケーション」、コロナ禍を機に飛躍的に浸透した「テレワーク」など、新しい働き方を推進するとともに、全県光ブロード環境の構築をはじめ、最適な通信環境をピンポイントで構築できる「ローカル５G基地局」の整備など、Society5.0を先導するインフラを整備することにより、企業誘致や新たなビジネスの進展、「都市から地方への人の流れ」の加速に向けて取り組んでいます。

本県が全国をリードしてきたこれらの施策に更に磨きをかけ、「WITH コロナ時代」を乗り越え、「アフターコロナ」を見据えた未来へと加速するとともに、「新次元の分散型国土」の創出に向け、実効性のある取組みを強力に推進して参りますので、貴協会の皆様におかれましては、なお、一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、貴協会のさらなるご発展と、会員の皆様のますますのご健勝、ご活躍を心から祈念を申し上げまして、お祝いの言葉といたします。